

Morita  
Mamoru  
Report  
vol.14  
2024.12



京都と子どもたちの明るい未来を守る!!

# 松井孝治 新市長 誕生

## 攻めの都市経営へ

財政

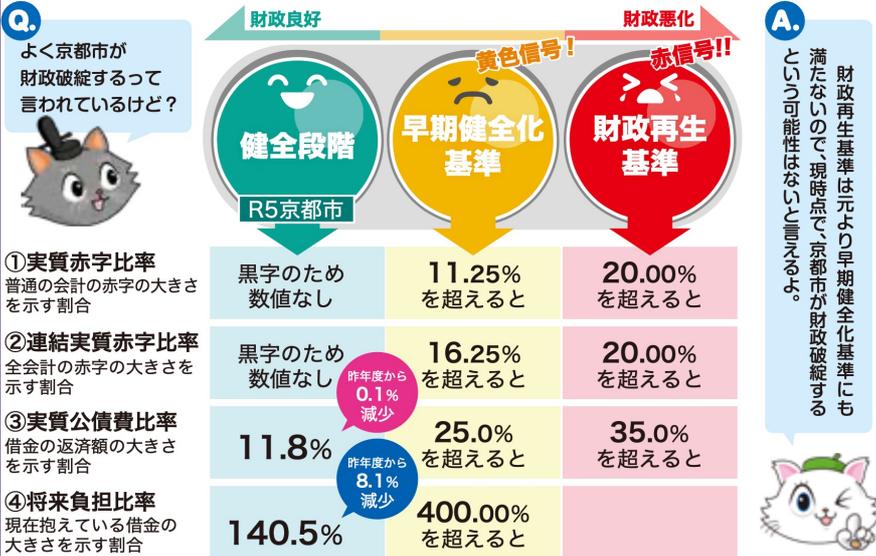
令和5年度決算  
88億円の黒字

令和5年度決算は、昨年度に続き、特別の財源対策をすることなく、88億円の黒字となりました。過去最高の黒字を確保できた要因は、堅調に推移する市税収入にあります。

松井市長は、財政が好転したことを受け、これまで設けていた歳出の上限を撤廃し、戦略的な投資を行う「新京都戦略」の骨子を発表しました。現行の行財政改革計画のもとでは、持続可能な財政の確立を目指すため、歳出削減に重きを置いてきましたが、今後は「攻めの都市経営」に転換し福祉、教育、子育て、包摂性の高いまちづくりや京都経済の支え、安心安全など、市民生活第一の徹底など、将来への投資を重視していきます。

特別の財源対策（公債償還基金の計画外の取崩し等）をせずに、88億円の黒字

### 財政健全化法に基づく健全化判断比率



決算となったことは、京都市財政が以前より健全化してきたことの表れです。ただし、公の会計は黒字だから良い、赤字だから悪いと一概に言えるものではありません。京都市財政とは一体なんのためにあるのか。それは、市民福祉の向上に他なりません。

今後も、市民の皆様の声を市政に反映させるため、努力を積み重ねてまいります。

## ケアラー支援条例

可決

全議員共同提案  
全会一致で

京都市会では、去る11月に「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」を全議員の共同提案、全会一致により可決し、制定しました。「ケアラー」とは、高齢、身体上又は精神上的の障害、疾病、使用する言語などにより援助を必要とする家族や友人、身近な人を無償でケアする人のことです。

- 障害のある人や子どもの介護、子育てをしている
  - 高齢者が高齢者を介護している
  - 仕事をしながら介護をしている
  - 引きこもりや依存症などの家族をケアしている
  - 子どもが、家族等のケアを日常的に行っている
  - 日本語が第一言語でない家族のために通訳をしている
- 全てのケアラーが自分らしく、健康で文化的な生活を営むことができよう、京都市では、今後、様々な施策を総合的・計画的に実施してまいります。

# 9月市会 市長総括質疑

課題

## 戸別ごみ収集

森田守

現在、家庭ごみ収集は定点収集が原則ですが、一部で、戸別収集を実施してほしいとの声があります。

戸別収集実施にあたっては、収集運搬に係る経費増による、さらなる市民負担の増加、他都市に比べて細街路が多いという京都市特有の課題、またごみ収集にかかる人材不足に対する懸念などが考えられますが、今後のごみ収集の在り方についてのお考えを伺います。

岡田憲和副市長

仮に、戸別収集になると、京都市は袋小路や細街路、行き止まりが多いため、走行延長が延び、収集時間も長くなり、コストが掛かるということと、機材や人材が必要となることから、安定的に続けられる体制が確保できるかという大きな問題があります。

一方で、今後、共働き世帯や高齢者の単身世帯が増えていくことを踏まえ、しっかりと状況を見ながら研究する必要があると思っています。

令和6年12月11日

京都市長 松井孝治 様

自由民主党京都市会議員団  
団長 橋村 芳和

### 要望書

北陸新幹線は、歴史的に繋がりの深い近畿圏と北陸圏を結ぶ高速基幹鉄道であり、地域交流を促進し、沿線地域の産業・経済の発展に寄与するだけでなく、新たな国土軸を形成し、災害時には東海道新幹線の代替機能も果たす、大変重要な国家プロジェクトであり、国において進めるべき事業である。

平成29年3月に与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおいて、小浜・京都ルートが決定されて以降、環境影響評価の手続きが進められており、本年8月には、与党北陸新幹線敦賀・新大阪間整備委員会から、京都を通る3つのルート案や概算事業費、工期等が示されたところである。

しかしながら、自然環境や生活環境に与える影響・対策の詳細については明らかにされず、我々自由民主党京都市会議員団にも、多くの市民の皆様から不安や懸念の声が寄せられている。

特に、「地下水への影響」、「建設発生土への対応」、「工事車両による交通渋滞」、「市財政への影響」など、北陸新幹線が有する課題は市民に大きな負担を強いるものであり、こうした点について、市民の懸念を十分に払拭することが必要である。

我が議員団では、去る10月3日の京都市会の代表質問で、松井孝治市長に対し、こうした市民の不安や懸念の声をしっかりと受け止めるとともに、今を生きる我々だけでなく、将来世代のことも十分に配慮した対応を求め、松井市長からは、これに真摯に応える答弁をいただいたところである。

京都が誇る山紫水明の自然は、そこに暮らす人々の暮らしや産業を支え、また、京都の人々に支えられながら、悠々の時を、まちの人々と共に過ごしてきた何物にも代え難い大切な存在であり、将来世代にしっかりと引き継いでいくことが今を生きる我々の責務である。

については、松井市長には、国や鉄道建設・運輸施設整備支援機構に対し、次に掲げる事項を求めたいことを要望する。

記

- 地域の声をしっかりと受け止め、地下水、建設発生土、工事車両による交通渋滞、地方の財政負担など、北陸新幹線が有する課題に対し、適切に対応すること。



要望

## 市民の懸念払拭を

# 北陸新幹線 小浜・京都ルート

北陸新幹線に対する、自由民主党京都市会議員団の考え方については、先の代表質問で、しまもと京司議員が述べていますが、改めて同じ内容の要望書を松井市長に提出しました。特に、「地下水への影響」「建設発生土への対応」「工事車両による交通渋滞」「市財政への影響」については、市民の皆様への懸念を払拭することが必要です。

## 森田守 プロフィール

昭和50年 6月15日生まれ  
平成10年 同志社大学法学部法律学科卒業  
平成10年 (株)セブン-イレブン・ジャパン  
平成16年 二之湯智参議院議員秘書  
平成27年 京都市会議員初当選(現在3期目)  
現在 環境福祉委員会副委員長  
自民党京都府連政調会長  
家族 妻・娘3人・息子2人・猫3匹  
趣味 キャンプ・スキー・マラソン

## 京都市会議員 森田守 事務所

〒615-0027  
京都市右京区西院西三蔵町9-1  
Connect西院2F  
T&F 075-313-0023  
M moritamamoru.kyoto@icloud.com



自民党



Homepage

Facebook

X

Instagram